環境マネジメント

基本的な考え方

ミウラは「熱・水・環境のベストパートナー」として、環境課題の解決に向けた取り組みを推進し、その考え方を「ミウラグループ企業行動規範」や「環境方針」に明文化しています。また、気候変動を重要な経営課題と認識し、TCFD提言に基づく気候関連リスク・機会の評価を事業活動に反映しています。今後も、環境に配慮した製品・サービスの提供と環境負荷の低減を通じて、地球環境保全と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

環境マネジメント

ミウラでは、環境課題への対応を着実に推進するため、環境委員会を中心とした環境推進体制を構築しています。環境トップマネジメントは環境マネジメントシステム（EMS：Environmental Management System）に関する責任と権限を担い、環境方針や計画の策定、進捗確認、重要事項の承認を行うとともに、その内容を経営会議へ報告しています。また、環境委員会は製造部門をはじめとする幅広い部門のメンバーで構成され、環境課題の把握や目標設定、進捗管理を通じて継続的な改善活動を推進しています。

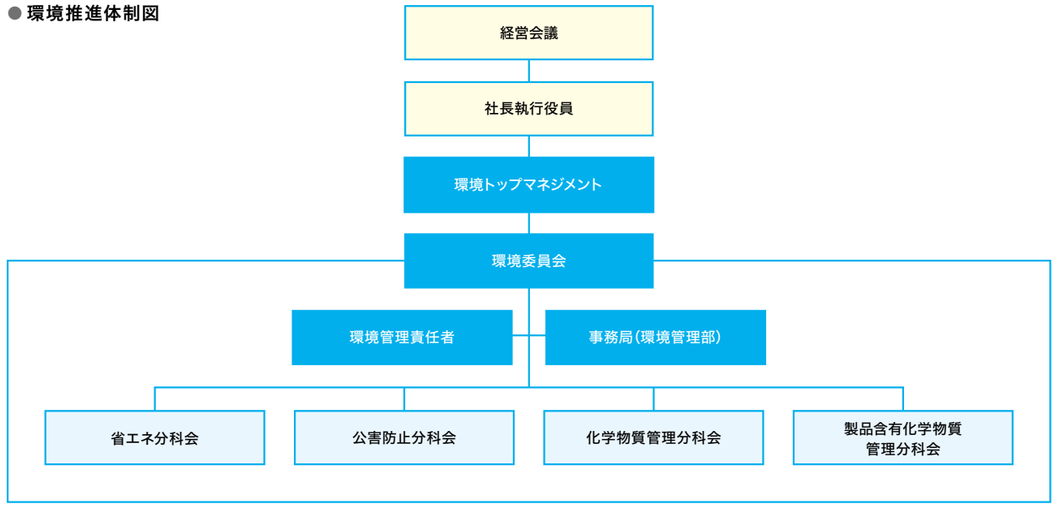
■ ミウラ エコチャレンジ2050

「ミウラ エコチャレンジ2050」は、GHG排出量や水使用量の削減、排出物のリサイクル率向上などの環境目標を掲げ、その達成に向けた取り組みを推進しています。これらの環境目標については、環境委員会が進捗を確認し、目標達成に向けた取り組みや継続的な改善を推進しています。

■ EMSの構築と運用

国内では、三浦工業（支店を除く）および一部の国内グループ会社の計5社をISO14001の認証対象とし、2007年2月に認証を取得して以降、更新を継続しています。海外では、主要なアジア圏の製造拠点である三浦工業（中国）有限公司、韓国ミウラ工業株式会社、台湾三浦工業株式会社の3現地法人においてもISO14001認証を取得し、更新を継続しています。その他の製造拠点についても、EMSの構築・運用を進めています。

● 環境推進体制図



環境への取り組み

■ 事業者クラス分け評価制度で10年連続Sクラス

「ミウラ エコチャレンジ2050」のもと、エネルギー使用の効率化と継続的な改善に取り組んでいます。その成果として、経済産業省・資源エネルギー庁が省エネ法に基づき、事業者の省エネルギーへの取り組み状況を評価する「事業者クラス分け評価制度」において制度開始以来、10年連続で最高評価のSクラスに認定されています。これは、「エネルギーの使用に関わる原単位（エネルギー消費原単位※1）」について、5年間平均で年1%以上の低減を継続的に達成してきたことが評価されたものです。

※1　省エネ法に基づく原単位：
エネルギー使用量（kL）/｛国内売上収益（百万円）×建物延べ床面積（km²）｝

■ 再生可能エネルギーの利用

2023年度にPPAによる太陽光発電システムの導入に着手し、堀江工場・北条工場の一部の屋根に太陽光パネルを設置しました。これによる2025年度の太陽光発電電力の消費量は、三浦工業および主要4工場で使用する電力量の約10%に相当します。さらに、2026年度には北条第3・5・6工場、北条電機FA棟、三浦工機の5工場に太陽光パネルを新たに設置し、発電を計画しています。

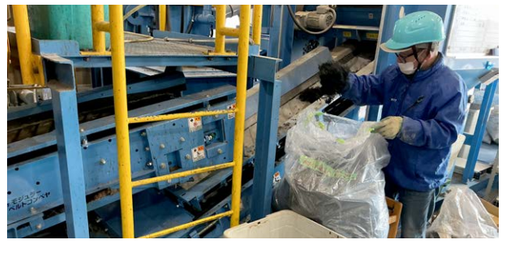
	2024年度	2025年度
太陽光発電電力の消費量	159万kwh	162万kwh

■ 水資源の有効利用

水使用量の削減に向け、工場排水の有効利用を進めています。北条第7工場の排水を第6工場のリン酸含有排水の希釈に活用する設備を整備しました。➡ 環境長期目標についてはP.51-52

■ 廃棄物のリサイクル推進

資源の有効利用に向け、廃棄物の分別やリサイクルを推進しています。廃キャスタブルをアスファルト舗装の路盤材として再利用するほか、粉体塗料のリサイクルにも取り組んでいます。これらの取り組みにより、リサイクル率は2025年度は93.3%となり前年度より2.7ポイント上昇しました。➡ 環境長期目標についてはP.51-52



自然との共生

■「ミウラの森」森づくり活動

2021年より愛媛県松山市の「ミウラの森」で、森林保全や地球環境保全への貢献を目的とした森づくり活動を実施しています。2025年度は、従業員とその家族52名および関係者が参加し、伐倒木の枝払いや広葉樹の植樹などの森林整備、森林散策やしいたけの植菌、薪割りなど、自然と親しむ活動を実施しました。また、「愛媛県企業の森づくりCO₂吸収認証制度」に基づき、この森林整備によるCO₂吸収量は数値として認証されています。





■ ビオトープ※2で自然との共生をめざす

当社では、北条工場敷地内にビオトープを創設しています。工場の生産や実験で使用した水を適正に処理して再利用し、自然との共生につなげています。

※2　地域の野生の生きものたちが生息・生育する空間という意味のドイツ語


ミウラの敷地内にあるビオトープ


ビオトープに生息するメダカ